

生徒指導栄養

～ 生徒指導を進めるための栄養源に ～



#43 【子どもが万引きした場合の保護者の話しかけ事例】

夏季休業まで2週間を切りました。私たち学校安全課は、日常的に呉警察署や広島警察署と連携をしていますが、ここ最近、少年や高齢者の万引きが多いと聞いています。

先日、特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構が万引きをテーマにした冊子を作成し、中1の保護者を対象に配付しました。この冊子では、万引きをした児童生徒の保護者の声、万引きの実態、子どもが補導された場合の禁句集などが掲載されています。



今回は、この冊子に掲載されている、子どもが万引きをした場合の、保護者の話しかけ事例を紹介します。教師が指導する際に、参考になりそうですね。



◆ 「今、どんな気持ちでいる？」【内省促進】

→ 自分が何をしたのか、それをどう感じているのか話すことで整理させます。

◆ 「自分がお店の人だったらどう感じるかしら？」【視点変換】

→ 自分が起こしたことを、他者の立場・視点で考えさせます。

◆ 「お父さん、お母さんに何かできることある？」【援助者】

→ あなたと同じ側にいる、ということを感じ取ってもらいます。
「一緒に謝りに行こうか？」のような行動提起にもつながります。

令和7年7月8日（火）

呉市教育委員会 学校安全課 生徒指導グループ

